働き方の変化とモチベーション

近年、政府が推進する働き方改革とテレワークの実装、また、労働者の働き方の変化を踏まえた情情報通信技術を活用した新しい働き方（テレワーク）が注目されている。特に、働き方の変化は、従来の労働時間や労働環境の制約を乗り越えて、労働者の自由度を高めると同時に、効率的な生産性を創出する機会をもたらしている。

しかしながら、テレワークの効果が期待できる一方で、効率的な管理が課題となっている。特に、テレワークの導入により、従来の管理システムが適用しきれない場合がある。そのため、管理者はモチベーションの向上、効率の向上に向けた努力が必要である。

自律性問われるテレワーク

自律性の高い従業員がテレワーク環境下で効率的に仕事をするためには、業務の分配と対話のツール、部下とのコミュニケーションを重要とされる。テレワークは、従来の労働環境とは異なる環境で働く従業員に対して、自律性を求める環境が整っている。

従業員の自律性を高めるためには、コミュニケーションツールの活用、業務の明確化が重要である。従業員同士の対話は、従業員の意見を尊重し、従業員同士の理解を深めることが必要である。こうした状況下で、従業員の自律性を高め、モチベーションを向上させることが求められている。